

自己評価票

地域密着型サービス自己評価項目

(評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

【記入方法】

複数のユニットを持つ認知症対応型共同生活介護事業所の場合、各ユニットごとに管理者が介護職員と協議の上記入してください。

次の項目は、小規模多機能居宅介護事業所のみ記入してください。

項目番号23 初期に築く本人との信頼関係

項目番号24 初期に築く家族との信頼関係

項目番号25 初期対応の見極めと支援

項目番号26 馴染みながらのサービス利用

項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援

次の項目は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入してください。

項目番号53 身だしなみやおしゃれの支援

項目番号59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援

項目番号60 お金の所持や使うことの支援

項目番号61 日常的な外出支援

項目番号62 普段行けない場所への外出支援

項目番号63 電話や手紙の支援

項目番号64 家族や馴染みの人の訪問

【用語について】

管理者 = 指定事業者としての届出上の管理者とする。「管理者」には、管理者不在の場合にこれを補佐する者を含む。

職員 = 「職員」には、管理者及び非常勤職員を含む。

事業所名 ハーモニー中田

(ユニット名) 認知症対応型共同生活介護

記入者(管理者)
氏名 宗像 亜紀子

評価完了日 平成20年11月24日

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営 1.理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	独自の理念をつくりあげている。	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	職員が目につくところへ掲示し、自然に意識するようにしている。	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	ご家族様との会話の中で理念を説明し、内容を理解してもらおうようにしている。	
2.地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	散歩等の時、気軽に挨拶を交わしつつでも遊びに寄ってもらうように声かけを行っている。	近所の人々が、気軽にお茶等を飲めるような行事や、雰囲気をつくる。
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	町内運動会や地域まつりや文化祭などには積極的に参加して地域の人々と交流を行っている。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>施設での芋煮会等には町内会や近所の人また老人会の方々に参加していただき、地域高齢者に役立てるようにお互い意見を交換する機会を持つように努力している。</p>	<p>町内会にも積極的に参加をして町内会を取り巻く地域状況を多く知るようにし、地域高齢者に役立てよう努力していく。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価を全職員で行いサービスの質の向上に努め、改善すべきところは早めに改善していくようにしている。</p>	
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>出席者の方々の評価や意見を忌憚なく話して戴き、適切なアドバイスには直ぐに実行し施設向上に生かすようにしている。</p>	
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>地域の行政センターにや消防署または駐在署へ出向いて地域情報を得る機会をつくりサービスの質の向上に生かしている。</p>	<p>幼稚園や学校等へも行き来する機会を作るよう努力する。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>職員会議等で地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、理解するようにしている。</p>	<p>地域権利擁護事業や成年後見制度を必要としている人がいたら支援するようにしていく。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>法人での施設内研修または、外部研修には職員が多く参加して学ぶ機会を持ち虐待が見過ごされないように努めている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>特に利用料金や起こり得るリスク重度化や看取りについての対応は、実際詳しく説明し同意を得ている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>月に1～2回訪問していただく訪問相談員と職員との意見交換し悩みや問題点を聞いてもらいアドバイスをもらう機会を持つようにしている。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>心身の状況については、変化があった時には、すぐに家族に連絡を取り状況報告を行っている。</p>	<p>職員の移動などがあった時にも報告すりょうにしていく。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>送迎等で気軽に声掛け、何でも言い合えるように努めている。</p>	<p>アンケートなどにより家族様からの意見や不満や苦情など把握できるように努力していく。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月1回の職員会議を行い運営に関する職員の意見や提案などを聞く機会を設けている。</p>	<p>職場内だけの話し合いだけでなく職場外でのコミュニケーションも雰囲気をかえながらの話をしやすい場をつくるようにする。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>人員配置では3：1を確保しなければならないため、曜日により職員の人数を多くしたりする話し合いを行い出勤体制もお互い納得するようにしている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>スタッフ全員が利用者と家族に馴染みのサービス提供ができるように努力しまた管理者は職員が離職せず長く勤務してもらえるよう努力している。</p>	
5.人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内においては毎月1～2回の施設内研修を行いまた1年ごとの研修予定がある。また施設外研修に於いても積極的に参加するようにしている。</p>	
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修などの参加で同業者との交流を持ちお互い意見交換をして自分の職場でのケアに役立てるように努力している。</p>	<p>同業者と定期的な交流会を持ちお互い話し合い職場に役立てるような機械を少しずつ作る。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>定期的に職員一人一人と話しをする機会を設け、悩みやストレスなどを聞けるように努力している。</p>	<p>職場内だけでなく、職場外に於いても気軽に話し会える環境をつくり、お互いの気持ちを理解しあえるようにする。</p>
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>職員の資格取得に向けた支援を行い、取得後は、本人の意向を重視しながら職場内で活かせる労働環境作りに努めている。また法人に於いては資格取得にかかる経費も負担する制度も設けている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>			
<p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)</p>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)</p>		
24	<p>初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)</p>		
25	<p>初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている(小規模多機能居宅介護)</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)</p>		
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>お客様本人の思いやご家族様の思いに寄り添い、片ほうだけの意見に偏らないようにし、日々の暮らしの中での出来事や気づきの情報共有につとめ、家族と同じ様に接している。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	お客様本人の言葉から訴える思いだけでなく、家族様にも意見を聞きながら片方に偏らないようにしている。お客様の表情、行動、からの変化での気づきも大事に対応している。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	お客様との会話の中やご家族との会話の中で、情報共有に努めより良いケアへ繋げるよう努力している。		定期的なイベント以外にも出来るだけ家族と本人とで話し合える機会を作るようにしていく。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お客様の大切な日等には、お客様本人の気持ちを大切に外出できるように努めている。		本人が馴染みあるほとにも、施設へ足をはこんでいただけるよう工夫をしていく。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	お客様一人一人の関係性や性格について職員間で、共有できるようにしている。また感情面での変化があるので、注意深く見守る様心掛けている。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	行事に招待したり、遊びに来て頂ける様、継続的な付き合いが出来る様心掛け気軽に施設の出入りが出来るようにしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の関わりの中での声かけや、表情などから、意見を推し測ったり確認する様支援している。又疎通が困難な方はご家族に協力して頂き把握に努めている。</p>	<p>ご家族様の都合もあると思うが、外出や外泊など家族との関わりを、少しでも増していくようにする。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>お客様の話や生活状況から出来るだけ把握するようにしている。把握が難しい時は、ご家族様に協力して頂き把握に努めている。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>お客様の一日のリズムを把握し、本人が今どうしたいかを感じ取り出来る事や、やりたいと思う気持ちを大切にしようと努めている。</p>	<p>生活リズムはもちろん小さな動作も見逃さない様にする。本人の思いを掴めるようにして行きその思いを現実になえられるようにする。</p>
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族様の意見を折にふれて良く聞く様に努め、スタッフの意見交換や本人、家族様を交えてのカンファレンス等を経て出来る限り本人がより良い暮らしを続けられるように介護計画を作成している。</p>	<p>利用者の目線に立ち、本人や家族にとって何が必要かを一番に考えてアセスメントやカンファレンスを行い本人本位の計画が出来るようにしていく。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>ご家族や本人の要望はその都度見直し、期限前であっても情報確認を重要視して検討し見直しを行っている。また体調の変化があった時には直ぐいカンファレンスを開き計画の見直しを行っている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者、通いサービス利用のお客様すべての個別ファイルを用意し、食事や水分量排泄や身体状況等全職員が、確認する事を義務付けている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	お客様が安心して暮らせるようにボランティアや地域の警察や消防署など連携協力を得ながら支援している。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	居宅支援事業所への訪問しての居宅ケアマネジャーと話し合いを持ち、意見を聴くように努力している。		サービス事業者と合う機会を作りお互いの意見交換が出来るようにする。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	緊急時等の際地域包括センターのスタッフと協力しながらサービス提供が出来るようにしている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人や家族が希望する主治医となっている。基本的には、家族同行受診となっているが、家族様の状況により受診困難な場合には、職員が代行して受診を行い、受信後は家族様に、きちんと状況結果を報告している。</p>	
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>認知症に関して、専門医の診断やアドバイス等お客様一人一人に対して対応してもらえる体制づくりをするように努力している。</p>	<p>家族と話し合いを持ち専門医の受診が必要な場合には、良く家族様にその必要性を説明し、納得してもらうようにしていく。</p>
45			
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院によるダメージを少なくするため病院にてカンファレンスを開催して早く退院できるようアプローチしている。</p>	
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>ターミナルに関しての対応指針を決め家族と医師と看護師をまじえて話し合いをするように努めている。</p>	<p>重度化に伴い意思確認書を作成し施設の今後の方針等家族様に説明していくように努める。</p>
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>事業所に於いて出来る事と出来ない事を職員間で話し合いを行いどこまで出来るかを自分たちで把握するように努力している。</p>	<p>家族と本人とで終末期の事も良く話合う機会をもつようにしていく。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>環境や暮らしの変化によるダメージが最少となるように努める。またこれまでの暮らしの継続性が損なわれないように支援している。他の場所へ移動する際には本人に不安をなくすように努力している。</p>	
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員の意識向上と利用者のプライバシーを損ねない対応をしている。人前での介護と誘導の声かけ等目立たないようにさりげなく言葉をかけたりする対応に心掛けている。</p>	<p>人前での介護、着替、排泄、の時の声かけは、目立たないように小さな声で誘導するようにしていく。また失禁等の時は声を出さずすばやく対応していく。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>お客様に合わせ声かけをする。納得しない場合には何度も説明をする。自分達の思いを押しつけることはせずどうしたら良いのか良く話を聞き本人に決めてもらうようにしている。</p>	<p>時には何度も説明しているうちに、少し感情的になってしまうことがあるので利用者の気持ちを十分理解し、本人の希望に添えるようにしたい。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>買い物や散歩、食べ物やしたい事を聞いてあげている。時間を区切った一日の過ごし方をしないようにしている。</p>	
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援(53は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている(認知症対応型共同生活介護)</p>	<p>着替えは、ご本人の意向で決めてもらう。化粧やおしゃれを楽しんでもらえるように取り組む。本人の馴染みの理美容院で希望に合わせた毛染めやカットをしてもらえるようにする。</p>	<p>外出する機会を作りお客様が、見だしなみや、おしゃれを意識するように努力していく。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員とお客様が同じテーブルを囲んで楽しく食事をしている。畑の野菜をお客様と一緒に採り食事に役立っている。また食事の配膳や後かたづけも手伝ってもらうようにしている。	本人の食べたい物を聞き外出での食事も取り入れるようにしていく。
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	一人一人の好みを理解しそれらを楽しめるように支援する。ご本人好みの飲み物等を一緒に買いに行ったりタバコ等は本人の希望に添って他のお客様の迷惑にならないように配慮している。	
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	お客様の排泄パターンを把握し、トイレ誘導をする。尿意のないお客様にも時間をみて誘導する。排泄を失敗してしまった場合には周囲に気づかれないように気を使うようにしている。	排泄を失敗してしまったお客様に対しては、小さな声で傷つけないようにしており、便の時声を出してしまう事があるので、気をつけるようにしている。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	お客様の希望する時間に入浴している。服を脱ぐことを嫌がるお客様に対しては、無理に脱がせないようにしている。予定外での入浴希望するお客様の時には希望に添えるようにしている。	
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中の活動を促し生活のリズムを整えるように努力している。お客様が寝付けない時には声かけを行い、暖かい飲み物を飲みながら落ち着いてもらいゆっくり就寝するように支援している。	
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)			
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)	お願い出来そうな仕事を頼み、一緒に行うようにしている。一緒に行ってもらった時には、感謝の言葉をかけている。	お客様一人一人の嗜好や好きな事を把握して一緒に行い楽しんでいくようにする。


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している(認知症対応型共同生活介護)	外出しての買い物時には、お金を実際払ってもらい金銭感覚の維持に努めている。		買い物に出かける時にはお客様も、少額のお金を持ち支払えるように支援を行うようにしている。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)	日常的にお客様と買い物ドライブ等に出かけている。歩行困難なケースでも車や車椅子を利用して、戸外に出る事を積極的に行っている。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している(認知症対応型共同生活介護)	お客様一人一人に、行きたい場所の希望を聞き実際行けるように努力している。		年1回程度、ご家族様の協力を得て温泉旅行に行けるように計画を立てている。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている(認知症対応型共同生活介護)	お客様の希望に応じて、電話連絡や、手書きの手紙を出せるように支援している。		年賀状や暑中お見舞いを出すための支援を行いお客様の希望に応じて定期的に電話や、手紙を出せるような取り組みをする支援をしている。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している(認知症対応型共同生活介護)	訪問出来る時間は特に決めていなく、いつでも訪問出来るように対応しているが、夜間訪問時には一報いただくように伝えている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	高齢者の身体拘束に関する勉強会を事務所で実施し、職員の共有認識を図っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		<p>日中に於いて危険と判断した場合には現在玄関に鍵を掛ける事もあるが、将来は鍵を掛けないケアに取り組むように努力していく。</p>
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		<p>対応を早く、正確に出来るよう、マニュアルを更に整備し無駄のない行動が出来るようにしていく。</p>
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	様々な役割活動や外出により、リスクは高まるが、抑制感のない暮らしがお客様の表情を明るくし、むしろ行動障害を少なくしていることをご家族に具体的に説明している。		外出の機会を増やす。お客様同士の交流を深め、役割を見出してもらおう事で生きがいを感じる事が出来るように努力する。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	普段の状況を職員は把握しており、食欲や顔色等様子などの変化が見られたらバイタルチェックを行い、変化時の記録をつけている。状況により医療受診に繋げている。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の処方や容量が変更されたり、本人の状態変化が見られた時は、いつもより詳細な記録をとるようにし、看護職員や協力医療機関との連携を図れるようにしている。		使用している薬について更に理解を深める為、勉強会を開く。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	レクリエーションによる体操や散歩、家事活動等身体を動かす機会を適度に設け、自然排便できるよう取り組んでいる。		散歩等による身体を動かす機会を増やした。また、食事に於いて専門家の指導のもと、個々人の便秘に効果的な食事メニューを考える。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後の歯磨きの声かけを行い、力に応じて見守ったり介助を行っている。歯と歯の間等細かいところまで磨くように支援している。		
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取状況を記録し、職員が情報を共有している。		個々人の適切な食事量を出し、器の大きさ等を工夫して、適切な量の食事を摂って頂く。また飲みやすくまた飲む意欲を持てるように工夫をしていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	事業所内で起こり得る感染症について、細かくマニュアルを作成し、全職員で学習して予防、対策に努めている。		インフルエンザやノロウイルス等にも取り組んでいきたい。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	賞味期限を重視し、施設内での無農薬野菜を作っている。まな板、ふきん等は、每晚漂白し清潔を心がけている。冷凍したものは日付を記入している。		冷蔵庫や冷凍庫の食材の点検や掃除を曜日、担当者を決めて取り組み清潔を保持できるようにしていく。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	入口付近にベンチを置いて腰掛けて靴を履きやすいようにしている。季節感の花を生けたり、ホームの記事を置いている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	月間ごとに壁面に折り紙等の飾りをしている。季節ごとの行事(菖蒲湯、かしわ餅まんじゅう作り、七夕祭り)を取り入れている。		床板の為歩行時職員の足音が大きく鳴ることがあり、また戸を閉めるときパチンと鳴る時がある為十分注意するようにしていく。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	グループホームと小規模多機能の行先を自由に出入りできる様にしている。また自分の居場所の位置が決まっている。天気の良い時には外のベランダの縁台に座り太陽の光を満喫している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	本人が愛用していた小物類や馴染んでいる物を持って来てもらうように配慮している。	
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	外気との温度差がある時は、温度計とお客様の様子を見ながら調整している。また冷暖房は、お客様の発汗や冷えなどに注意して調整している。またトイレは、換気扇と消臭剤で悪臭が出ないようにしている。	温度、湿度の調節は、職員の感覚だけでなく、利用者一人ひとりの状態が違う為状況を掴み対応できるように努力していく。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	お客様の状態に合わせて、トイレ、廊下などに手すりを設置し安全確保と自立への配慮をしている。	個人浴の脱衣所に手すりまたは手すり変わりに出来るものも検討するようにしていく。
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	同じ形状の部屋であり扉である為、利用者の了解を得て、利用者が解りやすい様に色紙で飾りや模様をしてすぐに判別できるようにしている。	
87	<p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	庭や畑に花や野菜のスペースを確保し、利用者も収穫時には一緒に農作業をしている。また中庭での縁台にて利用者が日向ぼっこや夕涼みを行い喜んで戴いている。	

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3 くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	その他()
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度 ある たまにある ほとんどない	その他()
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3 くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3 くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3 くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3 くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	その他()
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	その他()

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	その他()
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他()
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない	その他()

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

毎食毎食の 朝、昼、夕の食事は最大の楽しみでありまた喜びであると捕えており、普通の食材で普通の家庭料理ではありますが、出来るだけメニューをより多く考え作る楽しみと食べる喜びをお客様と一緒に共有するように努めています。

自分達職員もお客様と一緒に、楽しむため、外出しての見学、散歩、食事など外へ出ていくように、努めています。